

浦田としゆき

# たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 21世紀以降最多質問回数38回目の登壇!!

### 印旛児童相談所 4月20日開設

#### 印旛地区最大の県出先機関

#### 専門人材125名体制

印旛地区から史上初の県議会議長として活躍した滝田敏幸県議長(印西市・栄町選出5期)は、2月定例会一般質問で38回目の登壇(21世紀以降最多質問回数)。千葉「ユータウン中央データセンター問題」では第三セクター千葉ユータウンセンターを厳しく追及するとともに、印西市「地区計画」への協力を申し入れた。また、「成田空港の第二の開港と北総線の輸送力強化」「印旛児童相談所」ほか地元地域における県政の重要課題について質疑が行われた。県議会議長を経験し滝田県議長は、県政の重鎮として益々存在感と影響力が高まっています。

#### 2月定例会県議会一般質問



県の施策を質問する滝田敏幸県議長

滝田議員 4月20日に開設を予定している印旛児童相談所の職員数は、125名程度になるとのことだ。児童相談所の新設は、印旛児童相談所に続き、秋ごろには松戸児童相談所も予定されており、これまで私が一貫して提言してきた、児童相談所の体制強化が進んでいることを実感している。

滝田議員 4月に印旛児童相談所の開設が予定されているが、県の児童福祉専門職員の採用状況はどうなっているか。

知事 県では、児童虐待の増加に適切に対応するため児童相談所の体制強化を図っており、来年度は、一時保護所の夜勤体制を二層充実させるほか、4月20日に印旛児童相談所を、秋頃



開設を控える印旛児童相談所

#### 北総線輸送力強化 復々線化を要請!!

滝田議員 成田空港の鉄道アクセスの強化について、成田スカイアクセス線の新しい線整備計画の概要はどうか。

総合企画部長 京成電鉄では、中長期的に増加する旅客需要への対応として、成田スカイアクセス線の輸送力増強などを図るため、成田空港周辺の単線区間の複線化に合わせ、新鎌ヶ谷駅から印旛日本医大駅の区間における新線整備計画の検討に着手することを公表しました。

この新線には、スカイライナーに加え、令和10年度に運行開始が予定されている、成田空港駅と押上駅を結ぶ新型有料特急が、最速で時

に松戸児童相談所を開設することなどから、職員をさらに増員する必要がある。

このため、早期梓試験の導入や採用試験の複数回実施に加え、大学への訪問、オ

速160キロメートルで走行することが計画されています。

この新線整備により、例えば、「スカイライナー」や新型有料特急のほか、アクセス特急や北総線の普通列車の運行本数の増加、「有料特急」に係る空港から都心までの所要時間の短縮といった効果があるとされています。

滝田議員 成田空港の鉄道アクセスの強化に向けて、3つの課題があると考えている。一つ目は「空港駅の機能改善」、二つ目は「空港周辺の単線区間の複線化」、そして最後に、今般公表された「成田スカイアクセス線の新線整備」で

ンライン業務説明会や職場見学会の開催等に取り組んできた結果、今年度の採用試験による採用見込者数は、2月6日時点で、児童指導員47名、保育士34名、心理30名、児童福祉司35名と、4職種合計で146名となっています。

今後も、県全体の児童相談所の体制強化に向け、児童福祉専門職員の採用を積極的に進めてまいります。

滝田議員 児童福祉専門職の採用を進めていくとの答弁があったが、引き続き人材確保に取り組んでいただきたい。

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

**たきた敏幸事務所**  
 〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

ある。

成田空港の鉄道アクセスの強化は、一義的には国策として進めるべきだが、県においては、地元にとってのようなメリットがあるのを見極めた上で、沿線自治体とも連携し、必要な支援を行うなど、取組を着実に推進していただくよう要請する。

また、こうした課題を解消しつつ、押上駅から東京駅付近を結ぶ、都心直結線の整備も死活的に重要だと思ふため、この点についても、是非国への強力な働きかけをお願いする。

# 千葉ニュータウン中央駅前にデータセンター建設計画



データセンターの建設予定地

その後、地元では、昨年12月21日に「考える会」が主催する2回目の住民説明会が開催され、出席した藤代印西市長から「データセンター事業者との開発の前協議を終了し、17日に協議書を締結した」との報告があった。また、驚くべきことに、「考える会」の調査によつて、本土地の信託受益権の売主であるCNCが、その購入者であるデータセンター事業者に出資していることが明らかになった。最終的に、令和4年12月に、CNCは本土地の信託受益権を購入し、

## データセンター事業者にCNCが出資の事実判明

解決に最大限の努力をすべからざる問題の解決に向け最大限、協力してもらいたい」と申し上げたところであり、県からは「印西市や地域住民と事業者が協議、対話を進めて、問題の解決を目指すことには、出来る限りの協力をしたい」と答弁があった。

## 第三セクター

# 千葉ニュータウンセンターの責任を追及!!

## 疑念残るCNCの取引

居住環境の維持・改善に係る業務を実施する」と、はつきりと記載されている。そうした歴史と目的を持つた会社が、自身が行った取引によつて、安寧な生活が脅かされようとしている多くの住民がいることに責任を感じることはないのだろうか。

## 県は、印西市地区計画への協力をCNCに指導すべき

また、この際、CNCとの関係を根源的に見直すべきと思うがどうか。企業局長 県としては、株式会社千葉ニュータウンセンターには、千葉ニュータウン地区における職

わいの創出のため、商業施設などの建設及び管理を行うという当初の目的を、今後もしっかりと果たしていただきたい」と考えています。そのために、仮に自らの保有資産等の活用方法を検討していかなければならない場合であっても、地元印西市等としっかりと協議しながら進めていくべきものと考えています。また、千葉県は、千葉ニュータウン地区のまちづくりを担ったものとし

### たきた敏幸・PROFILE

- 1960年 印旛郡印西町大森生まれ 印西中、県立我孫子高校卒
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議2期
- 2007年 千葉県議5期
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2016年 農林水産常任委員長
- 2021年 千葉県監査委員
- 2022年 自民党県連政調会長
- 2024年 千葉県議会議長

### 要望

元地主であるCNCに対し、データセンター問題の解決に向け、印西市と一緒に住民の声を受け止め、対応するよう県から申し入れるとともに、駅前に入居する事業者のまちづくりや、住民目線のまちづくりの姿勢のもと、印西市の都市計画の見直しに協力し、地区計画に沿ったまちづくりに協力するよう、強く強く働きかけていただきます。

県民は元より地元からの信頼を得るため、企業局としても無責任な対応は許されない。責任ある対応をとるよう求める。